

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

|           |  |   |
|-----------|--|---|
| 1 施設名     | 仙台市岩切児童館                                     |   |
| 2 指定管理者   | 特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘                       |   |
| 3 指定期間    | 令和4年4月1日～令和9年3月31日                           |   |
| 4 施設の利用状況 | 《利用数》  | ・令和5年度 36,746人(前年度比 122.3%)<br>・令和4年度 30,044人<br>・令和3年度 25,063人             |
|           | 《事業》   | ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業                          |
| 5 収支の状況   | 《費用》   | ( )は前年度決算額<br>・ 指定管理者に支払った費用 80,133千円 (64,754千円)<br>・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) |
|           | 《収入》   | ・ 使用料収入 0千円 (0千円)<br>・ その他収入 0千円 (0千円)                                      |
| 6 利用者の声   | 《実施状況》<br>・利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。 |   |

## 二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

| 評価分野           | 所見   | 評価    |
|----------------|--|-------|
| I 総則           | 「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。  | 33/33 |
| II 施設の運営管理体制   | 職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。<br>なお、児童館管理業務仕様書において月に1回以上実施しなければならないと定めている避難訓練等を実施していない月があった。   | 29/30 |
| III 施設・設備の維持管理 | 日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。   | 24/24 |
| IV サービスの質の向上   | 名札の着用、児童館だよりの発行、Facebookの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。   | 28/28 |
| V 施設固有の基準      | 児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、様々な地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。<br>なお、毎月児童館とサテライト①②の児童クラブ毎にお便りを発行している。写真やコメントで活動の様子を伝えたり、お便りのタイトルやコメントを子ども達が担当する等子どもの主体性を育むと共に、多様な視点で児童の様子や成長を保護者と共有できるよう努めている。 | 19/18 |

### 三 評価総括

| 《指定管理者（特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘）による自己評価》   |
|--|
| <p>「児童館の特性を生かしながら運営をどう行うか」をテーマに、スタッフ全員で考え運営を行ってきた。</p> <p>○児童健全育成事業<br/>子どもたちの居場所をどうつくっていくか考え、流動的に対応した。児童館での遊びを通じ子どもたちが感じ、学び考えることができるよう、日常的な遊びや関わりの中での出来事を共有する機会を増やした。子どもたちが取り巻く現状と課題についても検討し、様々な遊び、体験をする「児童館であそぼう！」という事業を行った。</p> <p>○子育て家庭支援事業<br/>児童民生委員さんやいわき子育てネットワークのメンバーと積極的な情報共有に努め地域全体で子育て支援について検討し、共催事業を行った。また、児童館に来館した保護者には、ゆっくり過ごしてもらえるように、子ども達の様子と一緒に見守りながら、保護者とのコミュニケーションを図ってきた。</p> <p>○地域交流推進事業<br/>子どもたちの為に、地域の為に何が出来るか模索し、情報交換する会議を行った。新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行したことに伴い地域に出向く、りふっとバスを利用した「グランディへ行こう！」や「消防署までのお散歩」だけでなく、地域の様々な名人を児童館に招いて「WAZAJまん大会」にてマジックショーへの出演やSBLの方を招いて「ママのための防災講座」の開催を行った。</p> <p>○放課後児童健全育成事業<br/>様々な感染症の感染リスクを下げながら日常生活を送るなかで、遊びについての工夫が必要な場面が多く、課題も多かった。課題が見つかる度にスタッフ全員で解決に向け定期的に見直し、検討を行った。各々のスキルアップと共に、子どもたち一人ひとりの好きな遊びをクローズアップし、遊び込める環境を作った。遊びを通して子どもの成長を感じられた一年だった。</p> |

| 《施設設置者（仙台市）による評価》  | 総合評価 |
|--|------|
| <p>児童健全育成事業においては、恒例の「児童館であそぼう」を実施し、モルックやボードゲーム、制作やクッキング等の館内活動と共に、遠足や夜のハロウィンホラーナイトなど日常では経験できない企画で開催して多くの児童が参加した。ハロウィンホラーナイトは中学生も参加し、次年度はスタッフとして参加を希望する等自主性や社会性を育む取り組みもなっている。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、「はらぺこサロン」では創作活動やクッキング活動、「育自講座」では防災講座、お片付け講座、保健師さんと話そう等を実施した。終了後にはカフェタイムを設けて保護者がリラックスしながら交流が図れる場を提供し利用者同士のつながりが深まっており、多彩な取り組みで乳幼児親子を支援すると共に地域住民同士の交流を広げる拠点としての役割を果たしている。</p> <p>地域交流推進事業においては、「散歩に行こう」を実施し、近隣の商店で実際に買い物をしたり、消防署等の地域の施設見学、公園や田んぼ、河川敷で遊ぶ等、散歩を通して地域の方々や自然に触れる機会を提供した。木の実を収穫したり、水辺の生き物を捕獲し児童館でピオトープを作る等、その後の活動にも展開し遊びの充実にも繋げている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、本館児童クラブ、サテライト①、サテライト②それぞれで毎月児童クラブ便りを発行し、写真やコメントで活動を紹介したり児童クラブ便りのタイトルを子どもが書くなど、様々なツールで保護者と活動の様子や子どもの成長を共有できるように努めている点が評価できる。児童クラブの活動については、児童クラブ全体で同じ活動に取り組むものと、各児童クラブの環境を考慮した内容で遊びを提供するなど、子ども達が児童館で日々楽しく過ごせるよう支援している。</p> | S    |

### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

| 特記事項 |
|------|
|      |

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課